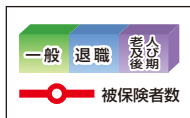
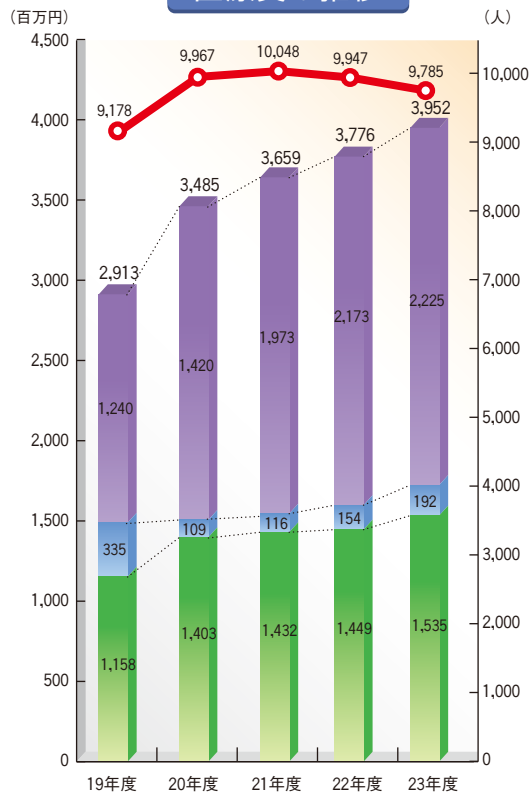


那珂川町

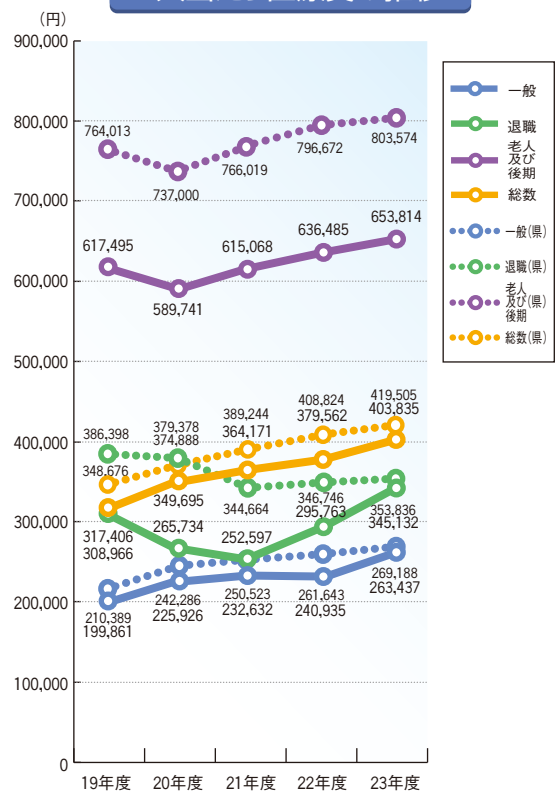
那珂川町



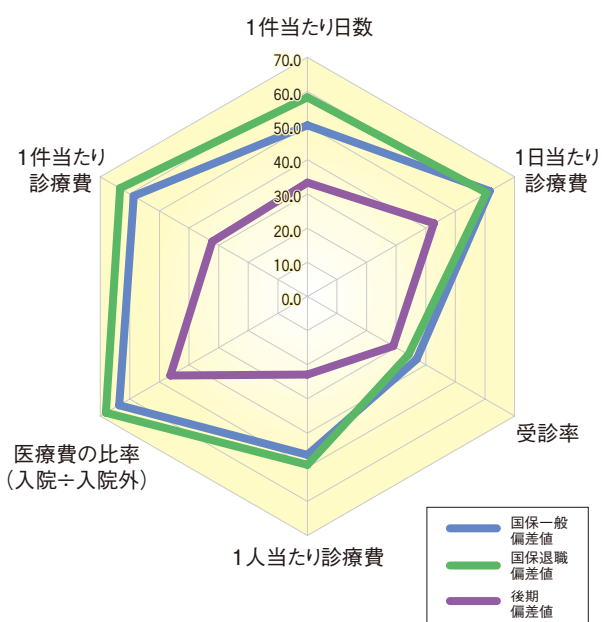
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

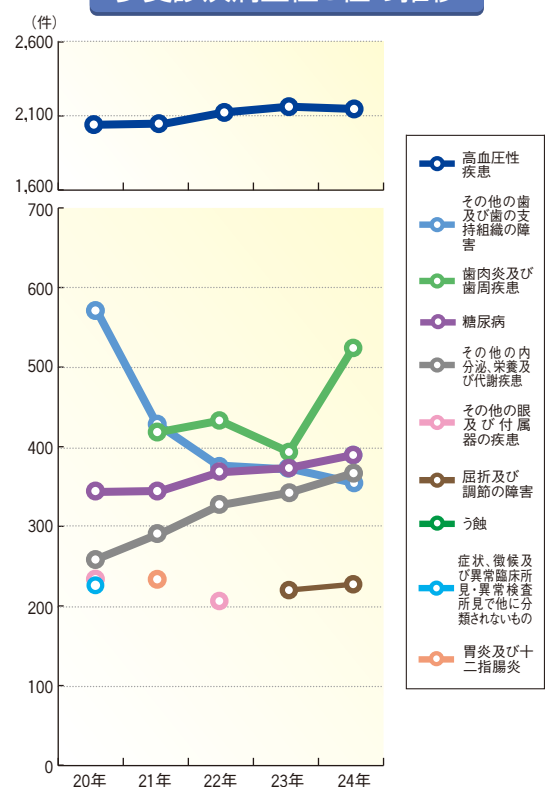


平成23年度
3要素と医療費諸費(県平均との比較)

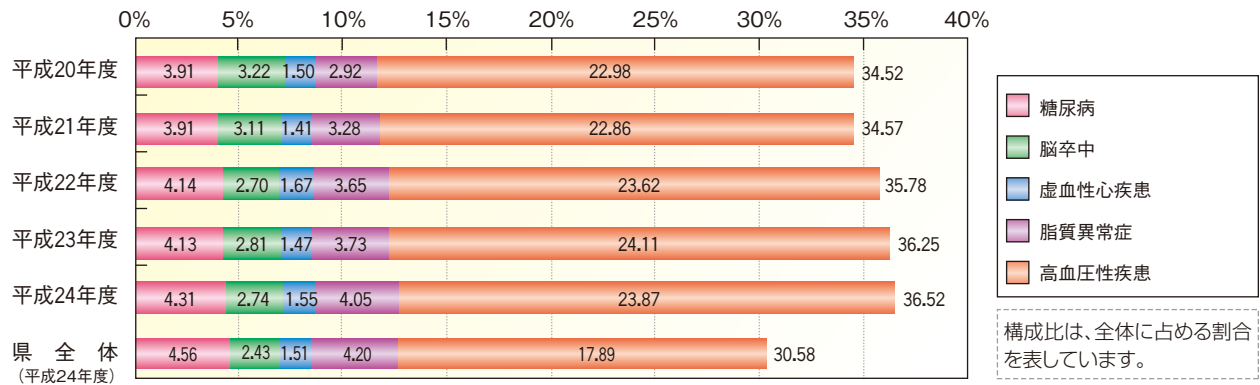


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

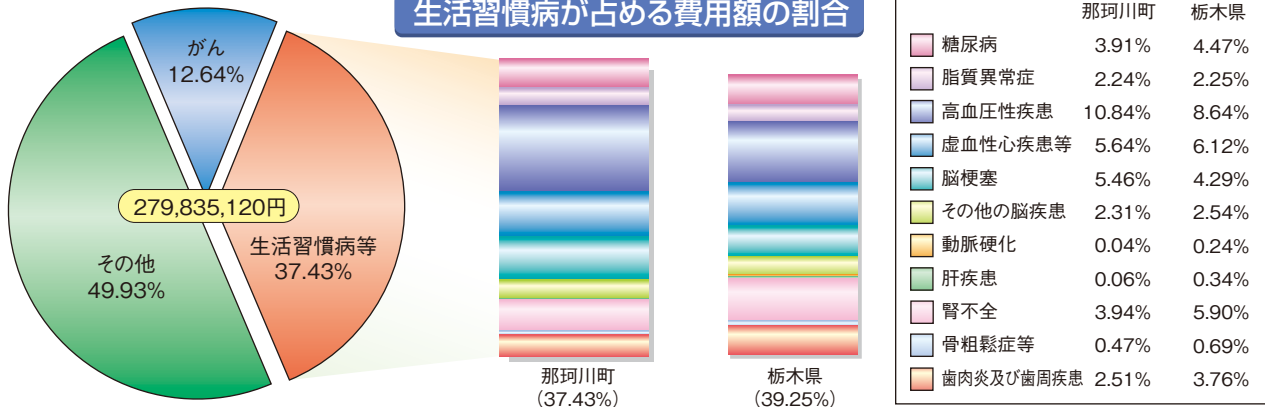
多受診疾病上位6位の推移



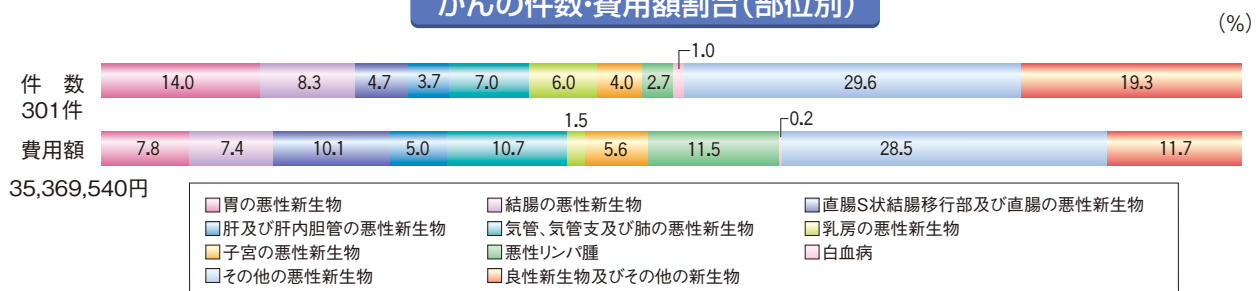
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



那珂川町の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成23年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般1,535,049千円(106.0%)、退職191,548千円(124.5%)、後期2,224,931千円(102.4%)で、全体では3,951,528千円(104.7%)と増加している。()は前年度との比較。
 平成23年度平均被保険者数は9,785人で、内訳は一般5,827人、退職555人、後期3,403人である。前年度と比較すると全体で98.4%と減少している。

また、平成23年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は403,835円(24,273円増)、一般は263,437円(22,502円増)、退職は345,132円(49,369円増)、後期は653,814円(17,329円増)である。()は前年度との比較。
 3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、退職は受診率、1人当たり診療費を除きいずれも高い偏差値を示し、後期はいずれも低い偏差値となっている。

★疾病の状況

平成24年5月診療分において件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位糖尿病、4位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、5位その他の歯及び歯の支持組織の障害、6位屈折及び調節の障害で、中でも2位の歯肉炎及び歯周疾患は前年と比べて件数は1.3倍、費用額は1.4倍になっている。また、5位のその他の歯及び歯の支持組織の障害は年々件数、費用額ともに減少傾向にある。

また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、5大生活習慣病の構成比は過去5年で最も高く、特に糖尿病と脂質異常症は年々増加しており、平成20年と比べ糖尿病は1.1倍、脂質異常症は1.4倍になっている。

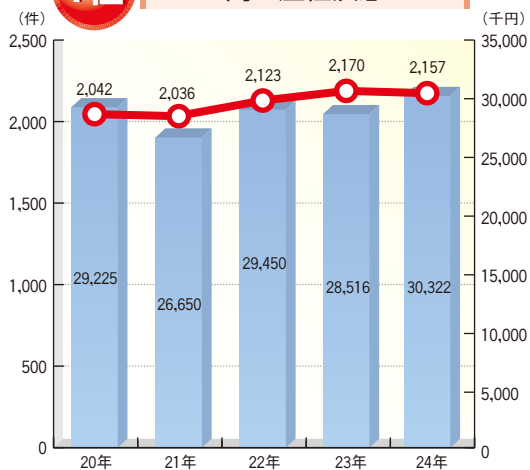
生活習慣病が占める費用額の割合では、平成24年5月診療分の総費用額が279,835,120円で、がんが12.64%、生活習慣病関連が37.43%を占めている(県全体 がん11.84%、生活習慣病関連39.25%)。費用額が占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患10.84%、虚血性心疾患等5.64%、脳梗塞5.46%となっている。

がんの部位別の件数及び費用額の割合では、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では胃の悪性新生物、結腸の悪性新生物、費用額では悪性リンパ腫、気管、気管支及び肺の悪性新生物が高い割合を占めている。

多受診疾病 上位6 の年次推移

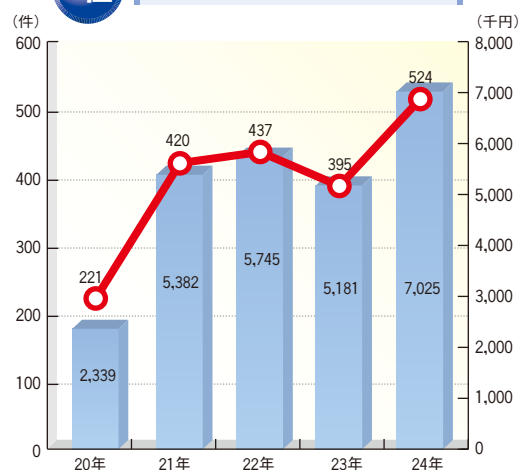
1位

高血圧性疾患



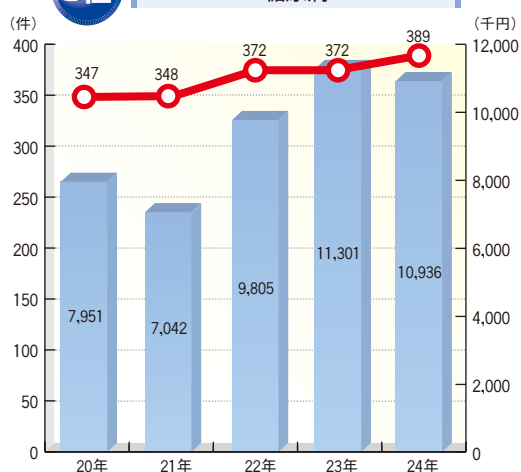
2位

歯肉炎及び歯周疾患



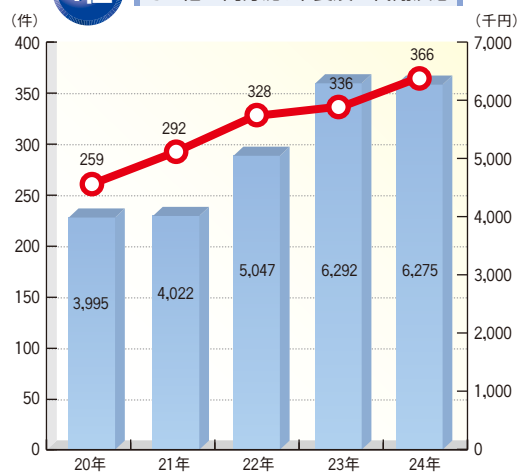
3位

糖尿病



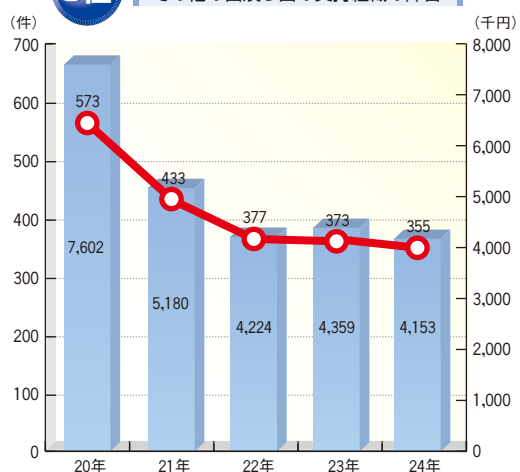
4位

その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



5位

その他の歯及び歯の支持組織の障害



6位

屈折及び調節の障害

